

黒百合

2026年
2月4日(水) — 22日(日)
世田谷パブリックシアター

原作 泉鏡花
脚本 藤本有紀
演出 杉原邦生
音楽 宮川彬良

木村達成
土居志央梨
岡本夏美
白石隼也
村岡希美
田中佑弥
新名基浩
猪俣三四郎
内田靖子
鈴木菜々
佐藤俊彦
大西多摩恵
外山誠二
白石加代子



スウィング：小林宏樹 松本祐華

黒百合

原作 泉鏡花
脚本 藤本有紀
演出 杉原邦生
音楽 宮川彬良

2026年2月4日(水) — 22日(日)
世田谷パブリックシアター

人跡未踏の石滝の奥に咲くといわれる幻の花、黒百合。
その花を手にしたと願ったとき、人々の運命は静かに狂いはじめる。

明治32年(1899年)、泉鏡花が説話新聞に連載した長編小説「黒百合」。
富山・神通川流域の洪水被害と、立山の黒百合伝説を背景に、当時の冒険小説の潮流にも呼応した、鏡花初期の意欲作です。これまで映像化も舞台化もされなかった本作が、世田谷パブリックシアターで初めて舞台化されます。

鏡花ならではの古典的情緒は、藤本有紀の脚本により現代に息づく戯曲へと再生され、ジャンルを越境し続ける杉原邦生の大胆かつ繊細な演出によって立体化されます。さらに宮川彬良のオリジナル音楽が重なり、欲望と清浄、美と死の二面性を秘めた物語は、ピカレストロマンの気配をまといながら、新たな姿を見せようとしています。

総勢14名の魅力あふれるキャストと第一線のスタッフが集い、令和の世に鮮やかに花開く舞台「黒百合」に挑みます。どうぞご期待ください。

【ものがたり】

明治後期、越中・立山。県知事の令嬢・勇美子(土居志央梨)は、屋敷に出入りする花売り娘・雪(岡本夏美)に、仙人か神しか見たことがないという幻の花「黒百合」を採ってくるよう命じる。黒百合は、足を踏み入れるだけで暴風雨が起ると恐れられる「魔所」の滝のそばに咲くとされていた。盲目の恋人・拓(白石隼也)の治療費を得るため、雪はその危険な依頼を受ける。一方、浅草で孤児として育った滝太郎(木村達成)は、突然現れた男に華族の血を引くと告げられ、富山の子爵家・千破矢家へ迎えられ、快気ある青年に成長するが、生まれつきの手癖の悪さは直らず、盗賊としての裏の顔を抱えていた。

ある日、県知事邸で雪を目にした滝太郎は心を奪われ、彼女を狙う男たちを懲らしめるうち、自らも黒百合採りに挑む決意を固める。幼少期から滝太郎を知る盗人・お兼(村岡希美)から「お前の盗みはゴミを漁る犬のよう」と言われ、誰も成し得ないものを盗みたいという衝動が芽生えていたのだ。雪に献身的に尽くされる拓は甘えることを恐れ、敢えて彼女を突き放してしまう。彼もまた、胸の内に秘めた事情を抱えている。隣家の荒物屋の婆さん(白石加代子)は、そんな二人を優しく見守り続けていた。

滝太郎が、大盗賊へと成長してゆく軌跡を縦軸に、滝太郎・雪・拓の三角関係、さらに勇美子の手元で愛でるモウセンゴケ(食虫植物)の内に広がる、夢とも現実ともつかない異界が重なり合う。冒険譚、恋愛譚、怪異譚……数多の物語が交錯しながら、鏡花文学ならではの幻想的な人間模様が浮かび上がる。

美術：堀尾幸男
照明：北澤真
音響：稲住祐平
衣裳：西原梨恵
ヘアメイク：国府田圭
振付・ステージング：下島礼紗
所作指導：藤岡貴雅
演出助手：山下茜
舞台監督：南部丈
プロダクションマネージャー：勝康隆
制作：法月智美 田辺千絵美 横井佑輔
プロデューサー：浅田聡子
世田谷パブリックシアター芸術監督：白井晃



●＝終演後ポストトークあり ※開催回のチケットをお持ちの方がご参加いただけます
10日(火) 14:00 杉原邦生(演出)、木村達成、土居志央梨 ほか
12日(木) 14:00 木村達成、白石隼也 ほか
17日(火) 18:00 杉原邦生、白井晃(世田谷パブリックシアター芸術監督) ※本ポストトークでは手話通訳がつかます。
18日(水) 14:00 木村達成、岡本夏美 ほか

△＝収録のため客席にカメラが入ります。
◇＝聴覚障害者のための字幕タブレット貸出(無料、要予約)。
■＝視覚障害者のための舞台説明会および音声ガイド貸出(無料、要予約)

【チケット】

一般発売 2025年12月14日(日) 10:00～

全席指定(税込)	S席 (1階席)	A席 (2階席)	B席 (3階席)
一般	¥9,500	¥8,500	¥6,000
高校生以下(当日要証明書提示)	¥4,750	¥4,250	¥3,000
劇場友の会会員割引*	¥9,000	¥8,000	¥5,500
U24割引(18～24歳、枚数限定)*	¥4,750	¥4,250	¥3,000
せたがやアーツカード割引*	¥9,300	¥8,300	¥5,800

*＝劇場チケットセンターで前売りのみ取り扱い、要事前登録

※未就学児入場不可。
※開演後は本来のお席にご案内できない場合がございます。ご了承ください。
※公演中止の場合を除き、原則としてチケットの変更・払戻しはいたしません。
※営利を目的とした入場券の転売は、いかなる場合にも固くお断りいたします。

【チケット取り扱い】

世田谷パブリックシアターチケットセンター
setagaya-pt.jp 03-5432-1515

(電話・窓口 10:00～19:00、年末年始は除く、発売初日は窓口での取り扱いなし)

- ・チケットぴあ☆ [Pコード 537-670]
- ・イープラス☆
- ・ローソンチケット☆ [Lコード 35658]
- ・カンフェティ☆

☆＝各プレイガイドともオンライン発売のみ。一般料金のみ取扱い。

【託児サービスのご案内】(定員有・要予約)

料金：2,600円
対象：生後6ヶ月以上9歳未満(障害のあるお子さまについてはご相談ください)
申込：劇場HP内フォームから申込(ご希望日の1週間前正午までに)

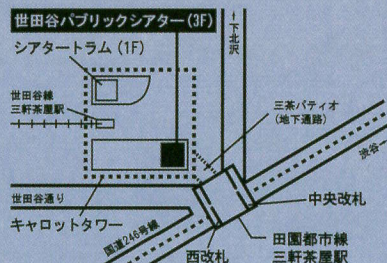
【車椅子スペースのご案内】(定員有・要予約)

料金：一般S席料金より10%割引(付添者は1名まで無料)
申込：劇場チケットセンター 03-5432-1515へ(先着順)

【お問合せ】

世田谷パブリックシアターチケットセンター
03-5432-1515(10:00～19:00、年末年始は除く)
setagaya-pt.jp

チケットに関する詳細、各種鑑賞サポートについては劇場HPをご確認ください。



世田谷パブリックシアター

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 Tel.03-5432-1526
三軒茶屋駅[東急電鉄田園都市線(渋谷より2駅・5分)・世田谷線]より直結

主催＝公益財団法人せたがや文化財団
企画制作＝世田谷パブリックシアター
企画協力＝松竹株式会社

後援＝世田谷区
協賛＝東邦ホールディングス TOYOTA (五十音順)
協力＝東急電鉄株式会社

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

宣伝美術：秋澤一彰 宣伝写真：山崎伸康 宣伝衣裳：西原梨恵 宣伝ヘアメイク：国府田圭 沖山晋一